

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術科	書道 I	2	選択	共通	1

教科書（発行所）	新編 書道 I（大修館書店）
教科書以外の教材	

目 標	<p>1 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>3 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
-----	--

学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期 オリエンテーション 書写から書道へ 楷書の学習 篆刻の学習	書写と書道の違いは何か。用具の種類や扱い方、専門用語について学ぶ。 楷書の基本点画を復習する。また、「九成宮醜泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」などの楷書の古典から、書風の違いと用筆・運筆の特徴を学ぶ。 篆刻の歴史や種類を学ぶとともに、その役割と芸術性を考える。石に自分の姓名印を刻す。	作品 作品 ファイル提出
	2 学期 行書の学習 草書の学習 硬筆の学習 隷書の学習 篆書の学習 生活の中の書	「蘭亭序」の鑑賞と臨書を通して、行書の成立とその特徴を学ぶ。 「真草千字文」の鑑賞と臨書を通して、緩急や筆圧の強弱などによる表現効果を学ぶ。 履歴書や金封など、生活の中で活用できる基本的な書き方を学ぶ。ボールペンに慣れるとともに、学んだ書体を生かして硬筆展に出品する作品を制作する。 身の回りの隷書の効果について考えるとともに、「曹全碑」の鑑賞と臨書を通して隷書の特徴を表現する。 最も古い書体である篆書の種類と漢字の変遷を学ぶ。「泰山刻石」の鑑賞と臨書を通して、篆書の用筆・運筆の特徴を表現する。 年賀状のマナーと書き方を学び、筆を生かした年賀状を制作する。	作品 作品 作品 作品 作品 作品 ファイル提出
	3 学期 仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習 まとめ	漢字をもとに日本で誕生した仮名について、その成立過程と特徴を学ぶ。平仮名・変体仮名・連綿の用筆・運筆を表現する。平安時代の名筆から紙面構成の特徴と効果を捉え、自身の表現に生かす。 これまでの学習で学んだ書を構成する要素について振り返り、漢字と仮名を調和させた表現を学ぶ。言葉の意味やイメージに合う表現を考え、意図や工夫を感じ取りながら互いの作品について話し合う。 1年間の活動を通して自身の取り組みや成長を振り返り、書の魅力とは何かを考えてみる。	作品 作品 ファイル提出

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<p>1 移動教室のため、時間に余裕を持って行動し、教科書や用具をそろえて席に着きましょう。</p> <p>2 用具は大切に扱い、常に整理整頓を心がけましょう。</p> <p>3 プリントは板書をそのまま写すだけでなく、説明をよく聞いてメモしたり、自身の考えや気づきを書き込んだりする習慣をつけましょう。</p> <p>4 作品の制作過程や鑑賞活動も評価の対象です。互いにアドバイスをするなど、粘り強く作品を書き上げる姿勢をもって取り組みましょう。</p>
----------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	<p>書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。</p> <p>書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。</p>	<p>主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>定期考査は行わず、次の4点をふまえて総合的に評価します。</p> <p>1 出席・学習活動への参加状況（主体的に学習に参加し、粘り強く取り組んでいるか。）</p> <p>2 作品（書体や書風の特徴を捉えて表現出来ているか。用具・用材や字形、構成などを工夫し、意図に基づいた表現が出来ているか。）</p> <p>3 プリント（自身の考えや気づき書かれているか。制作過程や改善点、自己評価など学びの過程が分かる内容となっているか。）</p> <p>4 その他（道具を大切に扱っているか。教室や棚の整理整頓が出来ているか。）</p>		